

飯塚病院の新型コロナウイルス感染対策

2021.02
no.191

飯塚病院だより

飯塚病院だより no.191 2021年(令和3年)2月26日 編集・発行 飯塚病院 広報課 印刷 マツオ印刷株式会社

コロナ禍でも医療機関で必要な受診を!

もしかして、控えてませんか?

- ☑ かかりつけ医への相談
- ☑ 乳幼児健診・予防接種
- ☑ 生活習慣病の健診・受診
- ☑ がん検診



乳幼児の予防接種を遅らせると、免疫がつくのが遅れ、重い感染症になるリスクが高まります。また、生活習慣病やがんの早期発見には、定期的な健診と適切な受診が重要です。健康が気になる今だからこそ、かかりつけ医に早めに相談し、健診は予定どおり受けましょう。



厚生労働省ホームページより一部抜粋

01 医師往来

- はじめまして!
2021年1月に入職した医師です。
- 耳鼻咽喉科 医師 平木 陽 (ひらき あきら)
 - 連携医療・緩和ケア科 医師 中西 貴大 (なかにし たかひろ)
 - 連携医療・緩和ケア科 専攻医 伊藤 貴祥 (いとう たかあき)

- おつかれさまでした!
2020年11月~2021年1月に退職した医師です。
- 呼吸器外科部長 大崎 敏弘 (おおさき みのひろ)
 - 心不全ケア科部長 今村 義浩 (いまむら ぎひろ)
 - 連携医療・緩和ケア科 松本 衣里 (まつもと えり)
 - 産婦人科 渡邊 さや (わたなべ さや)
 - 総合診療科 茂木 千明 (もぎ ちあき)
 - 連携医療・緩和ケア科 西水 翔子 (にしづみ しょうこ)
 - 耳鼻咽喉科 伊東 智樹 (いとう ともき)
 - 総合診療科 後藤 淳一 (ごとう じゅんいち)

02 新センター長・新部長のご紹介

- 呼吸器病センター 飛野 和則 (とびの かつのり)
- 呼吸器外科 安田 学 (やすだ まなぶ)
- 呼吸器腫瘍外科 岩浪 崇嗣 (いわなみ たかし)

03 YouTubeで飯塚病院チャンネルの動画配信を行っています

飯塚病院チャンネルでは、地域の皆様のお役に立てるような医療情報を発信するべく、さまざまなテーマの動画を配信しています。新型コロナウイルスの感染対策、「こんな時には漢方」シリーズなど、随時コンテンツを追加しています。

漢方の知識に加え先生の人柄もわかる動画となっています!

漢方とはどんな症状に効くのでしょうか。また多くの方が「体の冷え」「頭痛」などの症状で悩んでいるのではないのでしょうか。動画では漢方の考え方を基に、これらの症状への対策や改善方法を、当院漢方診療科部長の田原英一医師がユーモア溢れる内容でお話しています。

※2019年1月に開催した「筑豊地域医療サポーター養成講座」の内容を一部編集した動画です。




感染対策について正しい知識を学びましょう!

当院感染症科部長の野多加志医師が、新型コロナウイルスの特徴や感染対策について解説された動画です。福祉事業所向けに解説された動画ですが、日常の生活など身近なところで役立つ情報が盛りだくさんとなっております。日頃の感染対策にご活用ください。

※2020年8月27日に飯塚市の主催にて開催された「福祉事業所等向け新型コロナウイルス感染症に関する講演会」(クラスターを発生させないために)での野医師による講演内容を編集した動画です。



過度な受診控えは健康上のリスクを高めてしまう可能性があります。

新型コロナウイルス感染症への感染の懸念から、2020年4月に発出された緊急事態宣言下では、集団で実施する各種健診等を延期する措置が取られました。しかし、宣言解除後も受診控えが続いてしまっています。過度な受診控えは健康上のリスクを高めてしまう可能性があります。

健康に不安がある時は、まずはかかりつけ医に相談しましょう。

自己判断で受診を控えることで、慢性疾患の症状悪化や、そのために新型コロナウイルスなどのウイルスに抵抗できない状態になることがあります。かかりつけ医に相談しながら健康や持病を管理していきましょう。

コロナ禍でも健診や持病の治療、お子さまの予防接種などの健康管理は重要です。

発熱、咳や腹痛などの症状は新型コロナウイルス感染症に限りません。それ以外の病気の可能性もあるため、必要な受診を控えると最適な治療が受けられなくなる可能性があります。定期的に健診やがん検診を受けることが、生活習慣病の予防や、がんの早期発見・早期治療につながります。

※赤ちゃんのいる保護者の皆様へ

赤ちゃんの予防接種を遅らせると、免疫がつくのが遅れ、重い感染症になるリスクが高まります。予防接種のタイミングは、感染症にかかりやすい年齢などをもとに決められていますので、まだ接種期間内の方は、お早めにおすすませてください。

また、乳幼児健診は、医師、歯科医師、保健師、助産師などに相談できる機会です。子どもの健康状態を定期的に確認し、育児で分からないことや悩んでいることは遠慮せず何でも聞きましょう。

特集 飯塚病院の新型コロナウイルス感染対策

新型コロナウイルスの感染拡大・長期化により、不安な日々をお過ごしかと思えます。引き続き感染拡大を予防する新しい生活様式に基づく行動、手指消毒やマスク着用など、基本的な感染防止策の継続を心がけてください。

当院では患者さんに安心して入院・受診していただけるよう、様々な感染対策に取り組んでいます。今回の特集では、その活動についてご紹介します。

施設内への出入り口の限定・検温を実施しています

ご来院の皆様にはご迷惑をおかけしますが、当院施設内への出入口を3カ所に限定し、赤外線サーモグラフィカメラにより、来院者全員を検温を実施しています。37・5℃以上の発熱を感じた場合は、職員より声をかけさせていただきます(平日の午前8時〜午後5時)。その際の症状によっては、問診など通常とは異なる対応をさせていただきますのでご了承ください。

これらの対策は、院内へのウイルスの持ち込みを防ぎ、重症化リスクのある入院中の患者さんへの感染を防ぐことを目的としています。

入院患者さんの面会制限・マスク着用について

当院には新型コロナウイルスに感染すると、重症化するリスクのある患者さんが入院しています。入院中の患者さんを感染から守るため、当面の間、面会を制限させていただきます。入院中の患者さんに必要な物品を届けられる場合は、指定の時間内に各病棟のスタッフステーションにお預けください。患者さんへの直接のお届けや病室以外の場所での面会など、許可なく外部の方と接触することは禁止させていただきます。

※マスク着用について

入院中は診察、看護、リハビリ、検査などを受ける時や病室から出る際に、マスクの着用をお願いしています。そのため、入院の際はあらかじめマスクをご持参ください。患者さんやご家族の皆さんにはご迷惑をおかけしますが、ご理解の程、よろしく願います。



→ 病棟に掲示中のポスター

かし、出入り口の限定と検温でウイルスの持ち込みを完全に防ぐことは不可能であるため、当院では院内の待合スペースなど密になる環境での感染対策のご協力をお願いしています。



→ 検温の様子

感染対策に必要な換気を行っています

待合室や診療室に設置した換気ファンで必要な換気を行っています。そのため当院では必要時以外は窓の開放による換気は行っていません。なお適切に換気を行っていますが、すべ

陽性患者の受け入れ

当院では一般診療や救急患者の受け入れと並行し、福岡県新型コロナウイルス感染症対策本部(調整本部)の要請を受け、新型コロナウイルス陽性患者を受け入れることができます。

陽性患者の治療については感染症科や呼吸器内科、集中治療科、総合診療科等の医師と、看護師、リハビリテーション技師などを中心としたチーム体制で診療を行っています。さらに感染対策で重要な防護服の着用やゾーニングについては感染管理認定看護師の指導のもと、繰り返しシミュレーションを行うなど、スタッフ一同、感染防止に努めています。



→ 飯塚病院 標準防護具

ての皆様へ、マスクの常時着用をお願いしています。

待合スペースではソーシャルディスタンスを保つようご協力をお願いします

トリアージセンターや各診療科の待合スペース、会計前通路、薬局前など、患者さん同士が密になりやすい場所には張り紙やマーキング等を掲示しています。そのような場所では、間隔をあけてお待ちいただくよう、ご協力をお願いします。



→ 会計前通路



→ 陽性患者治療の様子

必要な病院受診を

まだまだ制限のある生活が続いていますが、自身の健康を守るために必要な病院受診を心がけてください。当院は今後も地域医療支援病院としての役割を果たすため、より一層感染対策の強化に取り組んで参ります。引き続きご理解とご協力をお願い申し上げます。

「新型コロナウイルス感染症に伴う当院の対応」の最新情報は飯塚病院ホームページで確認いただけます。

飯塚病院ホームページ
新型コロナウイルス感染症
に伴う当院の対応

